

「公民連携」で進化する旭

市長 米本 弥一郎



本年4月、企画政策課内に「公民連携デスク」を新設しました。これは企業や大学、各種団体の皆さまからの地域課題の解決に資する提案や相談を一元的に受け付け、互いを対等なパートナーとして、共にその実現を目指すための窓口です。

人口減少やデジタル化など社会情勢が変化する中、複雑な課題を行政だけで担うには限界があります。民間のノウハウや強みを生かし、相乗効果を生む「公民連携」の推進が、何より求められています。まずは市職員の意識改革を図り、全庁的な公民連携人材の育成に力を注いでまいります。

また、企業活動においても社会貢献や地域利益を両立するビジネスモデルが注目されています。今後、公民連携セミナーを開催し、共にまちづくりを進める機運を高めていきたいと考えています。

本年度、具体的な連携プロジェクトが本格始動します。千葉工業大学との「域学連携事業」では、市公式LINEの利用促進、道の駅の

魅力向上、商店街のにぎわい創出、観光ポスターの作成に取り組みます。さらに、三井住友海上火災保険とのSDGsワークショップや、銚子信用金庫との若手職員合同研修も予定しています。

これらを通じ、まさに「チーム旭」として力を合わせ、市民の皆さまのウェルビーイングの向上を目指してまいります。

これからの「公民連携」の取り組みにぜひご期待ください。

市長の
活動記録

